

御田小 研究だより

令和元年10月8日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

中学年の人権教育目標

- ★自分のよさに気付き、相手のよさや違いを受け入れられる
- ★友達や様々な立場の人を大切にしながら、思いやりをもって行動する

第2回 研究授業報告

9月25日(水) 4年1組 授業者 永野 倫子

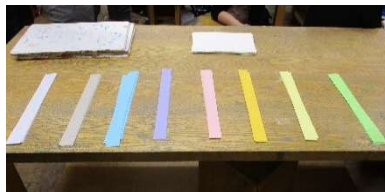
図工科「御田小えがおプロジェクト」

【授業のねらい】 ○気持ちを形や色で表すことを楽しむ。

○他者の気持ちを想像しながら、工夫して飾りをつくる。

【人権教育の視点】 気持ちを形や色で表して飾りをつくることで、他者がどう感じるかを自分なりに考えながら取り組む経験を通して、児童の想像力や感受性を育む。

【授業の工夫】



かかわり合いの場面作り

教室内に作品を展示できる場所を用意したり、材料置き場を点在させたりすることで、他の児童の作品が自然に目に入る環境をつくりました。

一人ひとりのよさを引き出す工夫

色紙やアートカードの中から気持ちに合う形や色を選択する経験を通して自分なりの表現を考えさせました。



学びの実感をもたせる工夫

相互鑑賞をして活動を振り返ることで、自分や友達の作品のよさや違いを感じ取り、制作に生かすことができるようにしました。



〈授業を終えて〉

今回の授業は、「御田小学校のみんなが笑顔になるかざり」をテーマに作品をつくることで、児童が学校全体のことを考える良いきっかけになりました。「心が一つになれるようにたくさんの輪をつなげました。」「オレンジや黄色で元気な感じを出しました。」など、色遣いや画用紙の使い方を工夫して真剣に制作に取り組んでいました。制作した作品は10月17日まで校内に展示しています。もしよろしければご来校の際にぜひご覧ください。